

2023 年度
専門学校サンテクノカレッジ
学校関係者評価 報告書

評価対象期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

2024 年 10 月
学校関係者評価委員会

目 次

I	学校関係者評価の概要と実施状況	1
	1. 学校関係者評価の目的	
	2. 学校関係者評価委員名簿	
	3. 学校関係者評価委員会の実施状況	
II	学校関係者評価委員会 評価結果報告	2
	1. 教育理念・目的・育成人材像	2
	2. 学校運営	2
	3. 教育活動	3
	4. 学修成果	4
	5. 学生支援	4
	6. 教育環境	5
	7. 学生の受入れ募集	6
	8. 財 務	6
	9. 法令等の遵守	7
	10. 社会貢献・地域貢献	7

I 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

専門学校サンテクノカレッジの学校関係者評価の目的は、以下の通りである。

- ①自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②本校の専門分野の関係団体、専門分野の関係業界、地元自治体、卒業生など、本校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

2. 学校関係者評価委員名簿

区分	氏名	所属等
関係団体	有泉一廣	一般社団法人山梨県情報通信業協会 事務局長
関係業界	※石原佳典	株式会社ジインズ ソリューション開発部 部長
	三浦誠	株式会社エスビーシー 代表取締役
地元自治体	丸山英資	甲斐市 総合戦略部 部長
卒業生	徳永敏	サンテクノカレッジ同窓会 会長

※委員長

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

(1) 第1回委員会

- ・日時：2024年8月28日（水）10：00～12：00
- ・場所：専門学校サンテクノカレッジ 会議室

(2) 第2回委員会

- ・書面による学校関係者評価報告書の内容確認および承認。

II 学校関係者評価委員会 評価結果報告

1. 教育理念・目的・育成人材像（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 社会のニーズに対応して、DX 推進や生成 AI に関して、外部での講演や研究報告、授業への取込が実施されている。
- 本校が目指す学校教育理念・目的・育成人材像が明確に明記され、学生に高い目標意識を持たせ、各レベルに応じた資格取得にチャレンジし成果を上げている。
- 地域産業界の発展や情報教育の重要性を考え、最新技術習得に係る先生方の特色ある学習カリキュラムが充実している。
- 情報化社会のニーズの多様化に対応した人材を育成するために、積極的に外部関係機関と連携した取り組みを行っている。
- 社会のニーズに沿った技術だけでなく、最新技術に対しての活動もできている。
- 技術のみならず人間性についての目的を教育の一環としている。
- 教育理念を達成するために、現在の社会の動向に合うようにA I やV Rなどの最新の情報技術教育を取り入れている。
- 目指す育成人材像のために業界の各所から情報収集を行っている。
- 最新の情報技術だけでなく、一般事務や医療事務などの教育も含まれている。
- 理念・目的・育成人材像を明確に定める中、職業教育の特色を生かしつつ社会ニーズを踏まえた将来構想を描き、これらを保護者、学生はもとより関係者にも公開されている。
- 目まぐるしい情報社会の変化において、さまざまな新技術を積極的に取り入れ、適宜業界のニーズに対応している。

【改善すべき点】

- 目的にもなっている「人間性」についての教育の場を検討してみてはいかがか。

2. 学校運営（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- ガバナンス、コンプライアンスが適切に維持されるように各種会議や、規程・規則が整備されており、計画にそって学校が運営されている。
- 教育目的に沿った運営方針・事業改革が定められている。
- 運営組織委員会に外部有識者が多数任命されていて風通しが良い。
- 教員就業規程等も随時、見直しがされている。
- 教育活動に対する情報公開については、各種 IT ツールや学校パンフレットを活用し積極的に発信されている。

- 教育目的に沿った運営方針、事業計画の策定が実施されている。
- 運営組織や意思決定機能が有効に機能しており、ルールが明確化されている。
- コンプライアンス体制の整備や必要情報の公開がされていて、学校運営に関して透明性が見られる。
- 各運営に関する会議や委員会が設置・整備され、開催されている。
- 働き方改革が推進され、実行できている。
- 情報公開や業務効率化が行われている。
- 運営方針については、関係者と横断的に協議され、しっかりとした事業計画を定め、情報公開や業務の効率化など、適切な運営が行われている。

【改善すべき点】

- 特になし

3. 教育活動（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 社会のニーズや技術動向を踏まえて、カリキュラム編成等を適宜改訂して変化に対応している。
- 時代に求められている技術を多方面から情報収集し、現場の教育に積極的に取り組んでいる。
- 各種資格試験受験やインターンシップ参加、関連分野の外部団体と連携することで校内学習以外の教育活動を実践している。
- 外部有識者を参加させ評価の透明性が図れている。
- 人材育成のための教育計画および時代のニーズに合わせたカリキュラムの策定がなされている。
- カリキュラムについては外部企業等と連携し、適宜見直しを行っている。
- 関連分野の関係者や団体からヒアリングして教育活動に反映している。
- 各種の資格取得に関係する体制がとられている。
- 教員が学会や他の学校でも教育活動に取り組んでいる。
- 教育活動におけるカリキュラムの編成においては、校内関係者だけではなく業界関係者などからのアンケートを参考としてカリキュラムへ反映させ、適宜見直しが行われていることは評価できる。
- 教員の知識・技術のスキルアップを図るため、研究費の支給は効果的である。引き続き、指導力育成や資質向上を図るため、本取り組みを推進していただきたい。

【改善すべき点】

- 改善の努力は見られるが、教員・職員の技能、指導力、資質向上は教員・職員の自助努力に負っている面が大きい。組織としてのサポート体制を拡充する必要性を感じる。

- 評価3の項目について、どうなれば評価4になるか、そのためには何をすべきか対策を検討する必要がある。
- 授業評価について、そのような組織、団体があるのであれば、外部委託してはどうか。
- 人材育成には、指導者の能力が求められるので、今後も外部研修などの参加に加え、企業との交流人事などの採用により、教職員の能力向上を求めてみてはいかがか。

4. 学修成果（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 2023年度の就職内定率が前年度よりも上昇している。
- 退学者に関しては低減を図る取り組みにより、過去数年と比較して顕著に減少している。
- 就職率を向上させるための活動に積極的に取り組んでいる。就職率も昨年度を上回り、コロナ前の状況に戻ってきている。
- 各種資格試験合格率も上がってきている。当校の客観的な評価向上となっている。
- 退学者を減少させるために、教員の各層で保護者も巻き込んでフォローしている。
- 対前年で就職率の向上が見られた。
- 就職に向けてのサポート体制がしっかりできている。
- 各業種に有効な資格取得に向けてのサポートができている。
- 退学のおそれのある学生に対して早期対応を実施し、結果として退学率を低減できた。
- サポート体制の充実は、学校および先生方の努力によるものと判断できる。
- 個別指導や試験対策、説明会などの数が多く、就職支援が手厚く用意されており、就職内定率を高く維持している。
- 資格取得支援も就職同様に手厚く用意されている。
- 就職率向上を図る各対策に努め、また、積極的なインターンシップへの参加などの成果として就職内定率が上昇した。
- 退学者減少の歯止めは、充実したサポート体制が構築されている成果と判断できる。

【改善すべき点】

- 基本情報技術者試験の合格者を、より増加させるための施策を実施すべきではないか。
- これまでの教員の後押しに加え、学校関係者の協力体制の構築など、引き続き就職率向上を目指す対策を検討願いたい。

5. 学生支援（評価結果／適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 就職面接のオンライン開催に対応して、学生が利用できる一室を学内に設け、学生の就職活動の支援を行っている。
- コロナ禍で休止していた OB 同窓会の活動を再開させ、卒業生とのつながりが維持されている。
- 指導員を中心とした進路・就職活動が活発に実践されている。外部団体が開催している展示会イベントや就職ガイダンス等も積極的に活用している。
- 学生に対する進路や生活に対する相談を実施している。また、経済的な支援や健康管理、サークル活動への支援も行っている。
- 社会人に対するリスキリングの機会が増えてきている。社会人の受け入れ態勢も整備されている。
- 学生一人ひとりの分析を行い、将来の進路や就職へのサポートができています。
- 専任のカウンセラーや相談室の設置が難しいとのことではあるが、教職員全員の連携・協力により十分に補える仕組みが構築できている。
- 経済支援、健康管理の仕組みが構築できている。
- 入学金、学費に対して経済的な支援が多くある。
- 学生の健康管理のために健康診断が行われている。
- 快適な学生生活のために生活支援の情報提供が行われている。
- 卒業生の学び直しが用意されていて、またそれに学費割引がある。
- 学生とのコミュニケーションを図り、個々の声を聴取した手厚い支援は評価できる。

【改善すべき点】

- 開学から 30 年以上となり、企業に就職した卒業生が企業内で重要なポジションに就くようになってきていると想像する。そのような状況を戦略的に利活用すべきだと考える。
- 経済的支援の体制整備として、甲斐市に奨学金制度の構築に加え、市内企業へ就職した場合の奨学金免除制度や現行奨学金の返済補助などを要望してみたいか。

6. 教育環境（評価結果 / 適切：5 名、不適切：0 名）

ー委員コメントー

【評価できる点】

- 各施設・設備は計画的に維持・整備されている。安全面、衛生面での環境維持が適切に行われている。
- キャンパス内の設備の改善や、時代とともに変化していくコンピュータ環境の改善にも積極的に取り組んでいる。
- 積極的にインターンシップ等 Face-To-Face の学習に取り組んでいる。
- 昨今、増加傾向にある災害に対する災害対策マニュアル等も整備されている。
- 学生に必要な施設および設備が十分に提供できている。
- 防災や学生の保険など、安心して学べる環境が提供できている。
- コンピュータ設備を学生が一人一台、自由に使用できる。

- 駐車場への出入りが安全面に配慮されている。
- 本校が外部から認められる評価は、いかに優れた人材を社会に送り出すことができるかが一つであり、引き続き学生が求める施設環境整備に取り組んでいただきたい。

【改善すべき点】

- コロナ禍も明けたので、海外研修や海外の学校などとの姉妹校の構築や学生の教育環境の充実化を図ってみてはいかがか。

7. 学生の受入れ募集（評価結果 / 適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 2023年度の一新された学校パンフレットは非常にクオリティが高く、学校の魅力を十二分に伝える内容となっている。
- 学生募集活動は積極的に展開されており、少ない教職員での活動としては驚異的である。
- 各種媒体（SNS、進学情報誌）を使って、昨年度以上の成果を出している。
- 県や市主催の各種コンテストへ参加し、地域社会とのコミュニケーションも図られ、学校プレゼンス向上に取り組んでいる。
- パンフレットの刷新やWebサイト、SNSを利用した募集活動ができています。
- 情報系サイト、情報誌の資料請求が前年に比べ増加できている。
- 外部の展覧会やコンテストに積極的に参加し、学校活動の成果を伝えることができている。
- 資料請求が前年度よりも多くなっていることから、各情報発信が正確に学生に届いていると考えられる。
- 募集活動においては、情報の配信や配布だけでなく、資料請求などを数値化して検証していることは評価できる。

【改善すべき点】

- 特になし

8. 財務（評価結果 / 適切：5名、不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 安定した経営が行われており、財務内容も健全である。
- 構内設備は老朽化に伴う機器等の更新等、中長期的な計画に基づき対応を実施している。また、情報公開等を実施しており、運営の透明性に努めている。
- 資金運用や施設、設備の修繕、退職金等、健全な財務体制になっている。

- 予算、収支の計画がなされ、実績の状況確認ができています。
- 長年借入れがなく、健全に運営ができています。
- Web上で情報公開しており、透明性が確保されています。
- 単年度収支は黒字となっており、収支累計も増額傾向であり、健全経営に努められていることは評価できる。

【改善すべき点】

- 特になし

9. 法令等の遵守（評価結果 / 適切：5名・不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 法令等を遵守し、個人情報や規程は規程を作って運用している。また、ネットワークは外部と遮断してセキュリティを確保している。
- サイバーセキュリティに対する脅威が高まってきているが、職員、学生共に注意喚起を行い規則に則り運営している。
- 法令・規則に従い、適切な運営ができています。
- 個人情報保護に対する指導ができており、システムの外部と隔絶する仕組みが構築できている。
- 評価に対する改善点に対し、周知を行い、検討・改善する体制が整っている。
- 学生に情報セキュリティに対する認識を高める機会を設けている。
- 自己評価の報告書を作成し、その関係者評価を実施して公開している。
- 自己評価および学校関係者評価報告書については、積極的に情報公開が行われ、この評価結果により改善に努め有効活用がされていることは評価できる。

【改善すべき点】

- 特に若い学生は法律に疎いことが往々にしてあるので、情報倫理以外にも触れる機会があるとよい。

10. 社会貢献・地域貢献（評価結果 / 適切：5名・不適切：0名）

－委員コメント－

【評価できる点】

- 外部の様々な活動に参加しており、学生にも良い経験となっている。
- 小学校への出前授業の実施、警察への動画提供、学校設備の利用など地域連携活動を継続的に実施している。
- 地域社会のイベントに積極的に参加し、校内学習以外に地域社会との交わり方や地域貢

献できる取り組みを積極的に実践している。

- サイバー防犯ボランティア、交通安全施策に対するポスター等に協力できている。
- 学校および駐車場の必要に応じた施設開放に協力できている。
- 学生ボランティアに対して、学校の支援ができている。
- 数多くの社会・地域貢献活動が実施されており、学生にもボランティア活動の啓蒙をしている。
- 本校で学んでいる学生のノウハウを活用し、警察へのセキュリティ情報の防犯活動をはじめ、子供から行政、企業など幅広い分野での地域貢献は高評価である。

【改善すべき点】

- 無償で協力しているということだが、授業、課外活動の一環とはいえ、アイデアや創作の時間を提供することになるので、できる限り労力にあった褒賞があるとよいと考える。
- DXが推進される現社会において、誰もがデジタルコンテンツに対応できるよう、地域高齢者を対象としたスマホ教室などを各種イベントに参画して貢献してみてはどうか（施設訪問や甲斐市イベントへの出店など）。